

主要施策名:(1)道路交通体系の整備

事務事業本数:7

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
④便利で快適な都市づくり	(1)道路交通体系の整備	(1)広域交通ネットワークの整備	411-1	道路改良推進事業	土木課
		(2)生活道路網の整備	412-1	道路維持事業	土木課
			412-2	道路新設改良事業	土木課
			412-3	防災・安全交付金事業(道路)	土木課
			412-4	橋りょうメンテナンスサイクル事業	土木課
		(1)広域交通ネットワークの整備	411-3	社会資本整備総合交付金事業(道路)	都市整備課
		(2)生活道路網の整備	412-6	街路事業	都市整備課



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 市道認定に関する業務	市道の認定及び廃止等の処理を行う。	議案提出回数	回	2	1	1	1
② 期成会等負担金支出業務	負担金を支出することにより業務の遂行を図る。	負担金支出回数	回	6	6	6	6
③ 道路台帳修正業務委託事業	道路台帳の修正業務を行う。	市道修正路線件数	件	103	90	102	100

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算		R02年度予算		
	対象(道路台帳修正延長)	15	10	10	0		
投入コスト合計(千円)	13,148	26,118	12,262	12,444			
対象1単位あたりのコスト(千円)	877	2,612	1,226	0			
コスト評価(対前年比)	***	33.56%	(↓)	213.00%	(↑)	0.00%	(-)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 道路台帳修正実施率	道路台帳の修正延長/市道認定(廃止)延長	%	100	100	100	100
2			100	100	100	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果	
妥当性 【21】	<input checked="" type="checkbox"/>	市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い	
	<input type="checkbox"/>	法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす		
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い	
	<input type="checkbox"/>	対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている		
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い	
	<input type="checkbox"/>	現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である		
公平性	<input type="checkbox"/>	事業開始当初の目的から変化してきている	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い	
	<input type="checkbox"/>	事業開始当初の目的から変化してきている		
		<input type="checkbox"/>	厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
		<input checked="" type="checkbox"/>	コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
		<input type="checkbox"/>	直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
		<input type="checkbox"/>	民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
		<input type="checkbox"/>	電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
		<input checked="" type="checkbox"/>	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
		<input type="checkbox"/>	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
		<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
		<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の目標値を達成した	
		<input type="checkbox"/>	現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
		<input type="checkbox"/>	手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
		<input checked="" type="checkbox"/>	法定事務であり成果は求めにくい	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
		<input type="checkbox"/>	事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
		<input type="checkbox"/>	事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
		<input type="checkbox"/>	国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
		<input type="checkbox"/>	受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
		<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input checked="" type="checkbox"/> 設定できない理由(市が行う事業であるため) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	新設・改良された部分に関して道路台帳の修正を行った。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終了
総合判定	A		
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	道路台帳修正業務委託事業については、当該年度道路新設・改良された部分全ての修正業務委託であるので現状のまま継続する。また、他団体と共同で行う期成会活動は国道等の早期整備や生活道路の改善には必要であるので現状のまま継続する。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	評価責任者
広域交通ネットワークの整備推進は、期成会の活動が必要不可欠である。また道路台帳の修正は、道路を管理をするうえで最新化にしておくことは重要なことで、今後も継続して行っていく。	田代史典



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 市道維持修繕事業	劣化等した道路の修繕を行う。	道路修繕箇所	箇所	151	168	169	170
② 市道除草業務委託事業	委託により道路の除草作業を行う。	市道除草委託件数	件	12	13	13	13
③ 市道維持管理借上料事業	生活道路を整備するものに対し、機械借上料を支給する	機械借上件数	件	123	115	160	160

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算		R02年度予算	
	対象( 市民 )	67242	66850	66319		65817
投入コスト合計(千円)	359,711	396,850	360,710		279,298	
対象1単位あたりのコスト(千円)	5	6	5		4	
コスト評価(対前年比)	***	90.11% (↓)	109.15%	(↑)	128.17%	(↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 市道除草業務委託面積	除草を行った面積	㎡	***	33000	357067	358316
2 未登記関係処理件数	未登記関係の処理件数(筆数)	件	5	8	25	34
* 成果未達成時の理由			8	22	59	

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価
	<input type="checkbox"/> 法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす		a 高い b やや高い c やや低い d 低い
<input type="checkbox"/> 市が事業へ関与する必要が薄れている	b		
<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている			
<input type="checkbox"/> 利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる			
<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である			
<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている			
<input type="checkbox"/> 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない			
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	<input type="checkbox"/> 直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> 電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価
	<input type="checkbox"/> 直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい		a 高い b やや高い c やや低い d 低い
<input type="checkbox"/> 民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	a		
<input type="checkbox"/> 電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある			
<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない			
<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある			
<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある			
<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある			
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標を設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> 法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値を達成した		a 高い b やや高い c やや低い d 低い
<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	b		
<input type="checkbox"/> 手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる			
<input type="checkbox"/> 法定事務であり成果は求めにくい			
<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している			
<input type="checkbox"/> 事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している			
<input type="checkbox"/> 国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある			
公平性	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる	・負担率【 3.05 %】 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input checked="" type="checkbox"/> 設定できない理由( 市が行う事業であるため ) 【24】	
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input checked="" type="checkbox"/> 設定できない理由( 市が行う事業であるため ) 【24】		

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	要望箇所について、計画的に修繕、工事を行った。未登記関係も計画よりも多く実施できた。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了
総合判定	A		
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今後も、引き続き要望箇所の修繕を計画的に行っていく。未登記についても計画的に進めていく。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	評価責任者
道路利用者への良好な交通環境を維持するため、引き続き行っていく。	田代史典



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 市道新設改良設計委託事業	現道の測量・計画路線の設計を委託する。	委託発注件数	件	30	31	15	5
② 市道新設改良事業	道路改良工事を発注する。	工事発注箇所数	箇所	37	28	17	14
③ 市道新設改良工事用地購入事業	計画路線に伴う用地の買収を行う。	用地買収件数	件	68	60	25	25

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算		R02年度予算	
	対象(整備路線数)	37	28	15		17
投入コスト合計(千円)	550,312	407,782	304,423		242,818	
対象1単位あたりのコスト(千円)	14,873	14,564	20,295		14,283	
コスト評価(対前年比)	***	102.13% (↑)	71.76%	(↓)	142.09%	(↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	
1 整備路線数	整備した市道の路線数	箇所	28	28	22	20
			37	28	17	
2						

\* 成果未達成時の理由 路線は少なくなっているが、一本一本の工事内容が割高になった。

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる	負担率【 0.00 %】 【24】
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input type="checkbox"/> 設定できない理由( )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	道路整備要望等に対する実施基準の検討を行った。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終了
総合判定	C		
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今後は、道路整備要望等に対する基準等を検討し、見直しを行っていく必要がある。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	評価責任者
財源負担の軽減や、道路整備の要望に対する基準等の整備に努める。	田代史典





《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 防災・安全交付金工事請負事業	損傷の進行が早い道路に対し処置(舗装工事)を行う。	工事発注件数	件	0	0	6	
② 防災・安全交付金委託事業	道路メンテナンスサイクルを構築し、道路維持管理のサービス水準を維持するため、現道の路面性状調査及び構造調査等の委託する。	委託発注件数	件	0	0	2	
③ 玉名市舗装個別施設計画策定業務委託【新規 未評価】	平成26年度に玉名市舗装維持管理計画を策定したが、舗装点検要領が平成28年10月に公表されたことにより、点検要領に合った玉名	委託発注件数	件	0	0	1	

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算		H30年度決算		R01年度決算		R02年度予算	
	対象(市民)	67242	66850	65817	0	0	0	0
投入コスト合計(千円)	3,259	5,071	81,041	0	0	0	0	
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	1	0	0	0	0	
コスト評価(対前年比)	***	63.89%	(↓)	6.16%	(↓)	0.00%	(-)	

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 整備路線数	整備した市道の路線数	箇所	0	0	10	
2			0	0	6	
* 成果未達成時の理由		国からの補助金が少なかったため				

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる	負担率【 0.00 %】
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input type="checkbox"/> 設定できない理由( )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	防安全から公適債に移行する予定であるが、R1は過去の基礎資料を活用できるため、防安全事業を行った。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終了
総合判定	C		
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	次年度からメンテナンスサイクル事業として再編し、分かりやすい事業にしていく。防安全から公適債に移行する計画であるが、補正予算など急に予算が付く場合もあり、市としての方向性がぶれている。情勢を見極めながら、防安全・公適債の両方に対応すべく事業としては現状のまま継続していく。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	安心で安全できる道路網を構築するため、防安全と公適債の両方に、柔軟に対応できるよう進めていく。	評価責任者 田代史典
----------------------	---	---------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 橋梁補修及び補強工事事業(措置)	診断Ⅲ(早期措置段階)以上の橋梁に対して、診断から5年以内に措置を完了する。	診断Ⅲ以上の橋梁数に対する措置完了橋梁数	橋	11/0	28/0	33/1	36/7
② 点検・診断事業	交付金を活用して橋梁補修・補強工事を行うために必須条件となる設計業務委託を行うものである。	業務委託発注数	本	5	7	1	1
③ 橋梁補修設計及び調査業務委託(措置)	省令告示により義務化された近接目視による点検を行い診断する業務	全体橋梁数における点検診断の進捗率	%	84/80	100/100	21/20	41/40

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算
	対象(市道橋の管理橋梁数)	833	833	833
投入コスト合計(千円)	179,035	185,521	167,423	185,938
対象1単位あたりのコスト(千円)	215	223	201	223
コスト評価(対前年比)	***	96.50% (↓)	110.81% (↑)	90.04% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 毎年国が道路メンテナンス年報として公表している修繕着手率(%)	修繕着手率は診断Ⅲ以上の橋について、補修設計の着手も含めて着手しているかの指標	%	—	63	80	100
2 点検により早期措置段階と診断された橋梁の措置件数	診断Ⅲ(早期措置段階)以上の劣化橋梁を対して、一般的なレベルの措置が完了した橋梁数	橋	0	0	1	8
* 成果未達成時の理由			11	28	33	

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input checked="" type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者の設定方法の問題、および、徴収に対する法的審査が必要である。 )	【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	第3回インフラメンテナンス大賞の国土交通省部門において、コスト縮減のみならずリソース制限下でのメンテナンスサイクルの進捗成果が評価され、優秀賞を受賞した。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	全国的な先進事例として評価を得ている本事業は、一般的に参考とする専門示方書の範囲以上の先進的な研究や技術や手法を実装している。この実状は本来専門有識者の業務範疇に該当するため、本事業の評価および分析を、専門知識を有する有識者と長期にわたり検証する必要がある。同様に、コスト縮減においても、工学的な観点からの精査、および評価を得る必要が残っており、喫緊の課題である。このような検証こそが地域住民へのアカンタビリティの責務である。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	第3回インフラメンテナンス大賞を受賞し全国的に注目された。今後も道路法に基づき法令順守を遂行していく。	評価責任者 田代 史典
----------------------	---	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 岱明玉名線道路整備事業(補助)	本線、国道、県道、JR橋等の工事を行う。	整備延長	m	215	0	0	470
② 河崎迫間2号線道路整備事業(補助)	本線等の工事を行う。	整備延長	m	0	0	0	0
③ 岱明玉名線道路整備事業(単独)	本線等の工事を行う。	整備延長	m	215	0	0	470

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算
	対象(整備延長の合計)	880	429	384
投入コスト合計(千円)	456,077	459,728	324,631	675,468
対象1単位あたりのコスト(千円)	518	1,072	845	1,437
コスト評価(対前年比)	***	48.36% (↓)	126.76% (↑)	58.82% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	
1 岱明玉名線の整備率	計画整備率(事業費ベース)	%	72.2	80.0	90.4	100
2 小浜繁根木線・松木14号線・竹崎1号線の整備率	全体計画整備率(事業費ベース)	%	66.9	78.9	80.3	
			100			
			100			

\* 成果未達成時の理由 跨線橋工事に伴うJRとの協議が難航し、事業の大部分を繰り越して施工する必要が生じたため。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( )	【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	岱明玉名線については令和2年度の完成を目指し継続する。前田東線は、費用対効果を十分検討し、事業化の可否を決定したい。河崎迫間2号線と中牟田線は他事業との調整が必要である。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	都市計画道路の整備について、費用対効果を鑑みながら、整備効果の高い事業を選別し、推進していく。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input checked="" type="checkbox"/> ・減額 (細事業名) 岱明玉名線道路整備事業(補助)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	評価責任者
今年度完成に向け滞りなく進捗管理する。	中尾賢治



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 前田東線道路整備事業	—	—	—				
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算		R02年度予算		
	対象(道路利用者)	0	0	6325		0	
投入コスト合計(千円)	0	0	9,063		0		
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	1		0		
コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(-)	0.00%	(-)	0.00%	(-)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 事業化検討業務	道路予備設計箇所数	箇所			1	—
2					1	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	b
	<input type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
		・法定事務であり成果は求めにくい	b
		・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
		・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	b
		・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
		・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる	負担率【 0.00 %】
		・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況	—			【25】
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定 A
	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終了	
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	令和2年度で都市計画道路である岱明玉名線が完了するが、次の都市計画道路事業については、令和3年度から令和4年度にかけて、都市計画道路の見直しを行う予定であり、その中で必要性・実現性等を検討したい。従って、本事業は現状のまま継続とする。			
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)			
	<input checked="" type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)	前田東線道路整備事業		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見	今後、都市計画道路の見直しが必要になるので継続して検討していく	評価責任者 中尾賢治
【28】		